

口蹄疫等の防疫対策について 更なる徹底をお願いいたします！

中国や韓国では口蹄疫が、ロシアのモンゴル国境付近ではアフリカ豚コレラの発生が確認されています。

今後、アジア地域では人・物の移動が盛んになる**春節（平成30年2月16日）**を迎え、特に**韓国の平昌(ピョンチャン)**では**オリンピック・パラリンピック冬季競技大会**が開催され、我が国からの海外渡航者も増加することで、国内への口蹄疫ウイルスの侵入リスクが極めて高まることが見込まれます。

牛豚飼養農家の皆様には、必要のないものが農場に立ち入らないように注意すること、農場訪問者の記録に加え以下の飼養衛生管理の徹底をお願い致します。

- 1．牛舎・豚舎などの飼育区域（衛生管理区域）への**病原体の持込みの防止**
- 2．野生動物等の**侵入防止**
- 3．牛舎・豚舎の**衛生状態の確保**
- 4．定期的な**清掃と消毒**
- 5．毎日の健康観察と異状が確認された場合の**速やかな連絡**
- 6．その他（埋却地の確保、立ち入り者の記録など）

また、家畜所有者の皆様には、アジア・アフリカ等本病発生地域への渡航は、**可能な限り自粛**して下さい。

農林水産省ホームページの「家畜衛生に関する情報」も参考にして下さい
(http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/index.html)

山梨県東部家畜保健衛生所

電話・・・055-262-3166 FAX・・・055-262-3108

夜間の連絡は・・・090-5535-8005

土日・休日の連絡は・・・090-5535-8005 または090-5544-7868

韓国で口蹄疫の発生を確認!

今一度、本病の発生予防を徹底しましょう!

韓国では、現在、広範囲の地域で口蹄疫（O型及びA型）の発生が続けて確認されており、我が国へ侵入するリスクが極めて高い状況が続いています。

過去の日本での発生をみると
まず韓国で発生しています!



2000年 → 2000年
2002年

2010年 → 2010年
2011年

2014年 → 2014年
現在

侵入する可能性
は非常に高い!!

韓国における口蹄疫の発生状況
(2017年2月以降)

2017年2月14日現在



発生予防の徹底をお願いします!

- 農場の出入口に看板を設置するなどにより、**関係者以外の立入を制限**しましょう。
- 農場に持ち込む**物品や出入りする車両の消毒を徹底**しましょう。
- 農場や畜舎の出入口に**踏込消毒槽**を設置することにより、**出入りする人の靴底の消毒を徹底**しましょう。
- 従業員の方も含め、**口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控える**とともに、これらの農場からの郵便物等は衛生管理区域に持ち込まないようにしましょう。
- 毎日、**飼養家畜の健康観察**を行いましょう。

効果的な消毒を実施しましょう!

◎ 効果的な消毒のポイント
踏込消毒槽の消毒液は、汚れで効果が薄れてしまうことから、**まずは汚れを落としてから消毒**すること。また、**消毒液が汚れていることに気づいたら、直ちに交換**すること。

・ 農場に出入りする車両の消毒では、タイヤのみを消毒するのではなく、**泥よけの内側部分や運転席の足元スペース**も可能な限り消毒すること。

《 要注意 》

- ★ **逆性石けんは口蹄疫の消毒薬としては不適**です!
- ★ **消毒効果が弱まるので、酸性とアルカリ性の消毒薬を同時に使用**しないこと!

推奨される踏込消毒槽の設置方法



疑わしい症状は直ちに通報を!

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に**よだれ**を流したり、**口、口、ひづめ、乳房に水ぶくれ**ができるのが主な特徴です。

～牛の症状～



～豚の症状～



写真:宮崎県提供

毎日必ず健康観察し、これらの症状を見つけ次第、直ちに**獣医師**や最寄りの**家畜保健衛生所**に連絡しましょう。



連絡先: **山梨県東部家畜保健衛生所 (055-262-3166)**